



ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

平成 30 (2018) 年

1 2 月 1 日 発行

第 2 6 号

夢のふくらむ学校

「進級等申込書」を配付しました。

本日、お子さんに「進級等申込書」及び「同申込みについて」の書面を配付しました。次年度の学級編制等の資料になる非常に重要な書類です。内容を熟読の上、締め切り厳守でご提出ください。

10月20日に行われた授業参観・学級懇談会には、大勢の保護者の皆様にご参観いただきました。以下に授業・懇談会アンケートに寄せられたご意見ご感想等について、わずかですが掲載させていただきます。



W校高等部 グループでの話し合いの結果を発表します。

<授業・懇談会に関して>

- ・自分の子ども以外に、よそのお子さんの発表などを聞くことができて良かった。
- ・「学校が楽しい」思えるような授業づくりを工夫してほしい。
- ・懇談会では、悩んでいるのは自分だけではないということが分かり、よそのご家庭での様々な工夫を知ることができてためになった。
- ・補習校と現地校との両立やこれから多くなる宿題や漢字の課題などをどうこなしていけば良いのか、他の親御さんたちからのアドバイスや意見が聞いて参考になった。
- ・授業時数が限られているのは分かるが、座学中心ではなくグループでの話し合いや子どもたちが交流し合う授業形態を工夫してほしい。
- ・学年が上がるにつれて滞米期間が長くなる傾向にあるからか、授業中や休み時間でも英語で話す子どもが散見されたことが残念だった。

<学校に対するご意見・要望等>

- ・学習参観日の単元や授業内容について、事前にお知らせ願えるとありがたい。特に、日本語に自信のない子どもの場合、授業について事前に家庭で準備でき、子どもも見通しがもてるので前向きに参加できると思う。
- ・うちも含めて、子どもに日本語を継承後として学ばせる目的で補習校に通わせている家庭も少なくないと思う。そのような場合、教科書をスケジュール通りのスピードで消化していくのは、子どもにとって負担が大きいのと思われるので、継承後として学ぶカリキュラムの導入を考えていただけませんか。
- ・将来的に授業以外のアクティビティ、例えばフィールドトリップや日系スーパーの見学などを取り入れていってはどうか。
- ・授業参観と普通の授業の落差がないよう、学校側でしっかり日ごろから指導していただきたい。
- ・古本市と重なったが、行事は重ならないようにしてほしい。

寄せられたご意見やご要望を全てご紹介できませんでしたが、今後の学級運営や補習校運営の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

また、当日はニューヨーク日本人学校、ニュージャージー日本人学校・補習校、そしてプリントン日本語学校より、あわせて21名の先生方が参観に来られました。中には、補習校は初めての先生もおられ、土曜日だけ現地の学校を借りて教室環境を整備することから始める事に驚かされていました。現地校と補習校の掛け持ちで頑張る子どもたちの姿勢、年間43日の授業で教科書を終えるカリキュラムや様々なニーズに対応する授業、課題の出し方などについて興味深そうに参観しておられました。授業については、発問の仕方や授業形態の工夫、効率的な課題の出し方など、本校教師に還元できる有用なご示唆をたくさんいただきました。



L校幼児部を見学される先生方

お知らせ

入園入学手続きについて

12月8日・15日は、W校の入園入学手続き日です。当日は、①年齢証明書類、②願書、③申込金小切手をご持参ください。幼初等部のお子さんは、スクリーニングを受けていただきます。